

# 郷土摂津 いにしえ通信

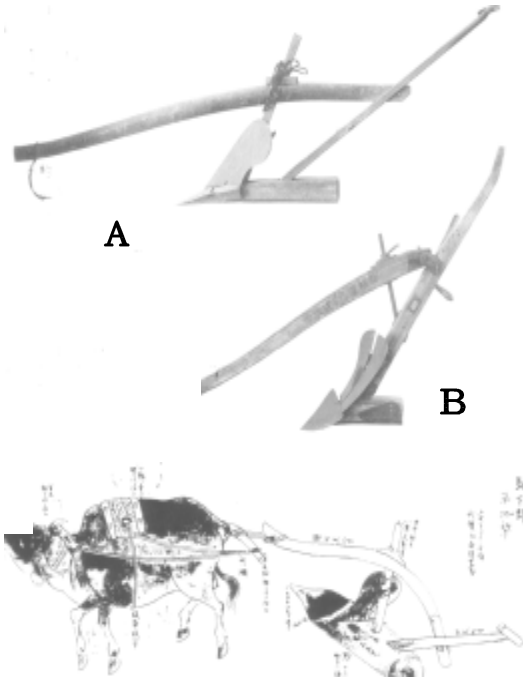
## 第60号 平成15年4月1日

発行 摂津市教育委員会 生涯学習部生涯学習課

〒566-8555 摂津市三島一丁目1-1

TEL (06) 6383-1111 TEL (072) 638-0007

ホームページアドレス <http://www.city.settsu.osaka.jp/>



「摂津国各郡農具略図」に見られる明治の唐犁

## 農具 から見た



### 第1回 唐犁（からすき）

牛に引かせて田畑を耕す道具です。動力耕耘機が普及する 1960 年代まで広く使われていました。古くは朝鮮半島や中国から伝来したもので唐犁と呼ばれました。写真Aは摂津市域で昔から使われていたもので長床犁（ちょうしょうすき）といいます。写真Bは明治の中頃から大正時代にかけて開発されたタイプで近代短床犁（たんしょうすき）といいます。摂津市域では改良犁とも呼ばれていました。



養成講座受講風景



三宅地区の歴史散策

## ふるさと摂津案内人

### 《わたしたちが摂津の歴史を案内します》

平成9年度から、ふるさと摂津講座を開催しています。受講生から、聞くだけでなく、学んだ事を生かし自らが講師をしたいとの声を聞き、2月に「ふるさと摂津案内人養成講座」の募集したところ、15名の応募がありました。

3回の勉強会を終えて3月19日にさっそく勉強の成果を「ふるさと摂津講座」三宅地区歴史散策の講師として発表しました。皆、自主的に下見をしたり、資料を集めたりして頑張られました。

## 石碑・顕彰札の紹介

## 摂津市域の歴史をたずねて

【所在地】 摂津市鳥飼上5丁目7地先

宇多天皇の御遊びの地「離宮鳥養院」 【設置年度】 平成5年度

平安時代、淀川の両岸には、皇族の離宮や貴族の別荘がありました。摂津市域の鳥飼上にあった、宇多天皇の離宮「鳥養院」も有名で、いくつかの文芸作品に登場します。中でも大和物語の次のくだりがよく知られています。

江口の遊女の大江玉淵の娘が「とりかい」という題で「あさみどり かいある春にあひぬれば 霞ならめど 立ちのぼりけり」と詠み、天皇は感激して衣服を与えられた。同席の公家達も同様に衣服を与え、衣服で部屋いっぱいになったとのこと。



## 第24回 埋もれた摂津市の歴史

### 淀川の底から縄文土器



縄文時代晩期  
滋賀里Ⅰ式浅鉢



縄文時代晩期  
滋賀里Ⅱ式深鉢

昭和49年、鳥飼西地区の浚渫工事の時、土砂に混じって縄文土器を含む多数の土器片が見つかりました。これらの中には上流部から流れてきたときにできる摩滅(ローリング痕)が見られないものがあります。採集された近くに集落があった可能性を示すものです。当時の淀川は網の目のように広がって流れていたことでしょう。そして、川筋の周辺には自然堤防や中州が形成されます。このような場所で、縄文時代の人々は生活を営んでいたのでしょうか。